

「大栄西瓜」の市場評価について

平成 29 年 9 月 1 日

東京青果（株）

「大栄西瓜」が高評価で取引されている要因は以下のとおりです。

1 栽培環境について

- 1) 生産者組織と農協の連携が密で、両者の指導のもとに栽培方法や選果方式が徹底されている。
- 2) 出荷に関して、厳しい品質検査が行われている。

2 商品の特徴について

- 1) 3L 中心の大玉で果実の大きさが揃っており、カット売りに適している。
- 2) 糖度が高く、果実による当たり外れがなく、品質のバラつきがない。
- 3) 近年は低コストハウスの導入などで出荷期間中の端境期が少なく、より一定量の安定した出荷量が期待できる。
- 4) 品質が信頼できるため、最も高値で取引される。

3 消費者、小売店の評価について

- 1) 皮ぎわまで糖度がのっており、ブロック売りしてもバラつきがない。
- 2) 事前の品質や出荷情報が正確で、入荷が安定しており販売促進しやすい。
- 3) 「大栄西瓜」としての指名買いが多くあり、一般消費者にブランドが浸透している。

<参考>

過去 5 年間の当社の西瓜全体のキロ単価と大栄西瓜のキロ単価の比較

(6 月上旬～7 月中旬 単位：円／kg)

|      | 2013 年 | 2014 年 | 2015 年 | 2016 年 | 2017 年 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 西瓜全体 | 187    | 172    | 159    | 185    | 195    |
| 大栄西瓜 | 211    | 215    | 198    | 230    | 217    |

以上のとおり、「大栄西瓜」は京浜市場では引き合いが強く、高く評価されている西瓜である。

「大栄西瓜」の市場評価について

平成 29 年 9 月 1 日

JA 全農青果センター（株）

東日本事業部 東京センター

「大栄西瓜」が高評価で取引されている要因は以下のとおりです。

1 栽培環境について

- 1) 栽培の歴史が古く、昭和 48 年(1973)から「大栄西瓜」の統一銘柄で出荷されている。
- 2) 全てパイプハウスと露地トンネルの雨よけで栽培されている。
- 3) 主に肥沃な黒ボク地帯で栽培され、灌漑施設が整っている。

2 商品の特徴について

- 1) 出荷シーズンを通して、安定した食味とシャリ感、棚もちを含めた品質においてトップブランドである。
- 2) 果実の中心糖度だけでいえば、他産地でも 13 度以上になる産地はあるが、中心から果皮近くまで糖度が高く、食味の統一感についての信頼度が最も高い。
- 3) 選果基準が厳格で、厳しい品質検査が行われているため、空洞がなく優品までカット用で提案できる安心感がある。

3 消費者、小売店の評価について

- 1) 大栄西瓜は前段の他産地に比べ、格段においしくなるため、本格的な拡販を行う最初の産地だと考えるバイヤーが多い。
- 2) 消費者からの食味評価も高く、店頭での販売が開始すると、消費者から店舗に対して、大栄西瓜指定での客注（贈り物等で使うための箱買いの要望）が入るようになる。
- 3) 店頭での試食宣伝会を行うと、格段に店舗の売り上げが向上することが多いというバイヤーからの意見もある。

以上のとおり、「大栄西瓜」は京浜市場では引き合いが強く、高く評価されている西瓜です。